3 月の園だより

2018 年度

真愛幼稚園

3 月の　聖書のことば

わたしは世の終わりまで、いつもあなた方と共にいる。

（マタイ福音書 28 章 20 節）

主　題　　期待する

・神さまが共にいてくれたこと、守られていたことを感謝する。

・お互いの成長を喜び、新しい生活に期待を持つ。

さんびか　　主はよみがえられる　　球根のなかには

う　　た　　ばら　：　こころのねっこ　　たんぽぽ　：ありがとうの花

もも　：　カレンダーマーチ

3 月の予定	
1日(金)	おわかれ遠足　農業文化公園 (雨天の時:園内遠足)
8日(金)	誕生会　10:30～
19 日(火)	午前保育(卒園式準備のため)
20 日(水)	卒 園 式・修 了 式　　10:30 ～ 終了後　保護者会役員総会

4 月の予定	
9日(火)	始園式
12 日(金)	入園式　10:00～
22 日(月)	給食始まり
22－24 日	家庭訪問
24 日(水)	APU と英語であそぼう 保護者会役員会
26 日(金)	誕生会　10:30～
30 日(火)	自由登園日(弁当)
1日(水)	自由登園日(弁当)
2 日(木)	自由登園日(弁当)

3 月のおたんじょうびのおともだち

12 日　かるき　ありさ　さん　5さい

27 日　なす　ゆうと　くん　　6さい

3 月の保育料について

・保育料　　各ご家庭で確認をお願いいたします。

・バス代　　4,000 円　　・保護者会々費　　600 円

・給食代　　3,575 円（給食9回、誕生会•しんあい給食１回　計 10 回、他）

※　3 月の保育料は 5 日(火)に引き落としされます。ご確認ください。

3 月の予定より

1日（金）おわかれ遠足

場所:農業文化公園に行きます。

20 日（水）　第103回卒園式　第104回修了式　10:30～　場所:教会礼拝堂

全園児と保護者、教職員で参加します。

この日はバスの運行はありません。

子どもたちは 9 時 30 分までに登園してください。

保護者の方は 9 時 50 分までに式場にご着席下さい。

詳しくは後日おたよりでお知らせします。

大きくなったお茶会がありました♪

「大きくなった感謝祭」を終え、次への歩みを積み重ねていく子どもたちの成長を実感しています。今まで大きくなるお手伝いをして下さったお家の方、友だち、そして神さまに愛され守られ成長したことを知り、お祝いすることができました。

昨年から続けられてきたお茶教室では裏千家の指導者をされている山中美智子さんと、サポートしてくれている永野　環さんに指導していただいてきました。今回お世話になった保護者や体育教室の工藤先生もお招きして年長組がお点前を披露しました。さらに生田流の師匠でもある賀来房子さんに琴を弾いてもらい、礼拝堂が和のステージと化しました。

お茶会の後には、年長組の 3 人がマジックショーをしてくれました。在園児や保護者など会場にいた全員が驚きと尊敬のまなざしを向けていました。

着物の披露会もあって最後に年長も着物を着て登場してきました。その後会場を移動して「おにぎりパーティ」を楽しみました。

☆お別れ遠足について

今年度最後の遠足は「農業文化公園」へ出かけます。
広い場所で遊び、春を待っている草花、虫たちにも会えると
いいなと思います。

３月１日(金)　(雨天の場合は園内遠足となります)
朝は、通常通りの時間です。
※帰りは 30 分下がりますので、間違えのないようにお願いします。

☆持ち物：荷物は1つにまとめて下さい。
お弁当、水筒、ピクニックシート、おしぼり、タオル
おやつ(食べれるだけ)、ゴミ入れ袋、ティッシュ

•着替えが心配な方は準備をお願いします。
また、着脱しやすく、トイレに行くのに困らない服装が良いです。

お願い　・春休み中に 引越しの予定のある方は、早めにお知らせください。

☆保護者会より☆

子どもたちにプレゼントを頂きました。ありがとうございます。
修了式の日に持って帰ります。

- ばらぐみ　フラワースタンド
- たんぽぽぐみ　おえかきくずいれ
- ももぐみ　アルバムしんちょうけい

☆バザーの益金で「ままごと野菜カットセット」「タンバリン、鈴、カスタネット、フルーツマラカス」を購入しました。ありがとうございました。

Ｉ am Me ， Ｉ am ○○

「わたしは○○」の「○○」に何を入れますか？いろいろ考えることが出来ると思います。「わたしは背が高い」「わたしは小さい」「わたしは足が速い」「わたしはきれい」などの身体的特徴か、「わたしは元気」「わたしは臆病」「わたしは恥ずかしがり」「わたしは明るい」「わたしは親切」「わたしは嬉しい」など性格的なものを入れるだけでも違ってきます。自分の今の状態を相手に伝えるのに言葉は大切になってきます。うまく自分の気持ちを伝えることが出来なくて、どう表現していいかわからなくて、もやもやするのは大人も子どもも同じです。

園長だよりでは事あるごとに絵本を紹介してきました。絵本は子どもが最初にふれる芸術と文学です。 そして絵本の魅力はすべてを表現しつくされないところから生まれる余白と静けさが想像力を引き出すことにあります。さらに絵本は時代を超えて読み継がれていきます。大人になってから読む絵本に新しい発見があって、絵本は子どもたちの言葉を、語彙を、想像力を、表現力を豊かにしてくれる「読む万能薬」と思っています。

絵本に親しんできた真愛幼稚園の生活の中で、子どもたちに「わたしはなあに？」と聞くと、答えはとても単純です。「わたしは○○」に入るのは自分の名前です。他の何でもない、誰にも替えの利かない唯一の存在として自分は存在していることを理論ではなく感性によって受け止めています。聖書では「子どもたちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。」（マルコ福音書10章14節）とあります。神さまはありのままの「わたし」を受け入れて下さっています。

絵本を見る視点も子どもたちでは違っています。その違いを個性として受け止めることもまた絵本の魅力です。ちょっとシリアスではありますが絵本の魅力を十分に発揮しているのが「わたしは　あかねこ」（サトシン作、西村敏雄絵、文溪堂）です。この作者２人は「うんこ」という絵本でもコンビを組んでいますので知っている方もおられると思います。

豊かな個性が重なったり、時には反発したりしながらＩ am Me（わたしはわたし）を広げていく場が幼稚園であることを信じて、子どもたちの１年の生活を見守ってくださった保護者の方と先生たち、そして神さまに感謝します。

（園長　庄司宜充）